

## 仔犬、仔猫と生活を始める飼い主様へ

生後2~3ヶ月のペットは、人間に例えれば幼稚園に上がる前の子供ぐらいに相当します。そんな子供にとって環境や食物の変化は多大なストレスとなります。新しい環境に慣れるには最低1週間かかります。最初の期間をうまく過ごすための注意事項を書いておきますので参考にしてください。

### ① 食餌は少量ずつ頻回に

仔犬・仔猫は、体が小さい分、胃袋も小さいですから大人のように食いだめができません。その為1日の食餌量をこまめに分けて与えてやる必要があります。1日の食餌回数は最低3回、可能なら4回にして与えてください。また、成長とともに少量ずつ（20%ぐらい）増量して行ってください。

### ② 初めて与える食物は

アレルギーを起こすことがありますので、少量ずつ様子を見ながら与えてください。

### ③ 水は自由に与えてください。

### ④ 観察は丁寧に

動物は喋れません。小さなことや様子の変化が病気を治療する上でのヒントとなります。排便・排尿の様子も観察しておいてください。

### ⑤ 寝ているときは起こさないでください。

仔犬・仔猫は、寝ているときに食物を消化してエネルギーとして充電します。

### ⑥ 遊ばせすぎないでください

仔犬・仔猫は、エネルギーの蓄えが少ないので、すぐにエネルギー切れを起こします。敏感な時期ですから、怖がらせたり、びっくりさせたりしないでください。

### ⑦ シャンプーは控えめに

シャンプーは体力の消耗を招き、風邪や下痢の原因となることがあります。

### ⑧ 外には連れ出さない

まだ伝染病に対する免疫が不十分ですので、ワクチンの効果が出る時期までは屋外での散歩はさせないでください。動物の集まる場所（公園や犬猫の美容室）へは連れて行かないでください。（抱っこ散歩はかまいません）

猫は完全室内飼いをしてください。限られた空間でも幸せに生きていきます。

### ⑨ 異物に注意

仔犬・仔猫は何でもかじって食べてしまいます。飲み込める物、たとえば人間の薬、画鋸、消しゴム、子供の玩具、ビニール、電気コードには十分注意してください。

### ⑩ 変調の場合はすぐ来院を

仔犬・仔猫は病気の進行が早いので、何か問題が起こった場合は早めに来院を。

### ⑪ 高所に注意

仔犬・仔猫は高さの感覚がありません。高いところに乗せて放っておくと、勝手に落ちて骨折や怪我をすることがあります。高いところには乗せないようにしてください。

★ 仔犬・仔猫にとって一番不安定な時期ですので細心の注意を払ってください。

将来、丈夫で元気なペットになるためにも今しばらく頑張ってください。